

沿線企業を対象としたモビリティ・マネジメント

粟生線沿線の事業者を対象に、粟生線の利用状況、新たな粟生線利用の可能性、廃止された場合の影響（通勤手段、集客減少の懸念など）等を把握するアンケートを実施した。

(1) 調査概要

ア 実施目的

- 粟生線沿線企業の通勤実態を把握する。
- 公共交通を使った通勤をすることは、企業にとってもメリットがあることを啓発する。
- 次年度以降の取組も見据え、粟生線活性化に協力頂ける企業を探す。

イ 調査方法

(ア) 調査方法

- 調査票郵送によるアンケート調査方式
 - 調査票の発送：企業については、受注者から一括発送（ただし、神戸市の対象企業のみ、神戸市役所職員が企業訪問し直接配布）。
学校については、自治体職員が直接訪問し配布（ただし、神戸市および大学に対しては、受注者から一括発送）
 - 調査票の返信：回答頂いた調査票については、協議会の事務局である「三木市まちづくり部美しいまちづくり課 神戸電鉄粟生線活性化協議会」宛に返信いただくよう、返信用封筒を配布。

(イ) 調査時期

- 調査票発送：平成 24 年 2 月 13 日（月）より順次発送・配布。
- 回答締切日：平成 24 年 3 月 2 日（金）までに回答頂くよう、調査票に明記。

(ウ) 調査対象

a 企業

- 小野市・三木市
粟生線沿線の企業を対象とするため、駅 2km 圏で登録従業員が 5 名以上の事業所を選定（小野市及び三木市の商工会議所に、事業所の選定を依頼）
- 神戸市
神戸テクノ・ロジスティックパーク（神戸複合産業団地）に進出している企業を選定

b 学校

神戸市西区・北区、三木市、小野市にある、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学から、粟生線沿線の学校を選定
（粟生線の鉄道駅から、おおよそ 5km 圏内にある学校を選定）

ウ 配布枚数及び回収状況（回答サンプル数）

区分		配布数(件)	回収数 (件)	回収率 (回収数/配布数)
企業	三木市	457	168	37%
	小野市	468	110	24%
	神戸市	85	43	51%
	その他	—	2	—
	企業 計	1,010	323	32%
学校	三木市	18	14	78%
	小野市	11	10	91%
	神戸市	19	11	58%
	その他	0	0	0%
	学校 計	48	35	73%
合計		1,058	358	34%

エ 調査票

a 企業

◇◇従業員への通勤手段に関するアンケート調査のお願い◇◇

神戸電鉄業生協会の皆様へ
会長 三木市博 北井達一郎

■調査への協力をお願い。
神戸電鉄業生協会の皆様へ、平成21年11月に協賛会を設立して以来、神戸電鉄業生の利用促進を図るため、様々なプロジェクトを実施してきました。特に、地域の皆様への業生利用促進を主眼とした取組を検討し、パークアンドライド駐車の整備やお得な企業乗車の発行、セグ列車などのイベント列車の運行などを実施してまいりました。また、今年度からは、沿線住民の方々に交通行動変容を促すモビリティ・マネジメントを実施し、住民の方々の業生利用促進や業生に対する前向きな意見を伺うことと致しております(平成23年9月と11月の2回実施)。
今回の調査は、業生利用促進の推進を目的として、「従業員の皆様の通勤実態」や「業生に対する前向きな意見/利用促進に向けた前向きな意見」などを把握するために実施するものです。調査結果は、今後の業生利用促進に向けた施策の参考にさせていただきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。
※お忙しい中、誠に恐縮ですが、是非とも、本調査にご協力をお願いします。

■ご回答にあたっての注意事項。
◇ご記入に際して。
・このアンケートは、業生利用促進の推進を目的とした企業向けのアンケート調査です。
・業生利用促進の推進を目的としたアンケート調査として、ご回答いただくには、是非、各事業所の代表者や責任者の方にご回答いただきますようお願いいたします。
・お答えは、特に指定がない限り1つ選んで、当てはまる項目の口印にチェックをつけてください。また、()の口印内には、具体的な数字や文字をご記入ください。
◇ご記入いただいた回答内容の取扱いについて。
・お答えいただいた内容は、今回の調査目的以外に使用することはありません。
・お答えいただいた内容は、全て統計的に処理を行い、個々の企業情報公表することはありません。
◇アンケートの回収期。
・ご記入いただいたアンケート用紙は、**平成24年2月29日(水)**までに、
周知の返信用封筒に入れ、切手貼らずにポストにご投函ください。
※本アンケートに関するご質問等は、下記までお問い合わせください。
神戸市 企画推進部企業推進課電話課 ☎(担当：増田、吉川) ☎TEL.078-322-5039
三木市 まちづくり部まちづくり課(担当：中西、平井) ☎TEL.0794-82-2000
小野市 総合振興部交通政策グループ(担当：上田) ☎TEL.0794-63-1000
神戸電鉄株式会社 社会事業部企業連係課(担当：船橋) ☎TEL.078-992-2221
兵庫県 農土地産部農土地産政策課(担当：木下) ☎TEL.078-341-7711

神戸電鉄業生協会の皆様へ
本協会は、業生利用促進の推進を目的として、沿線住民の方々に交通行動変容を促すモビリティ・マネジメントを実施し、住民の方々の業生利用促進や業生に対する前向きな意見を伺うことと致しております(平成23年9月と11月の2回実施)。
今回の調査は、業生利用促進の推進を目的として、「従業員の皆様の通勤実態」や「業生に対する前向きな意見/利用促進に向けた前向きな意見」などを把握するために実施するものです。調査結果は、今後の業生利用促進に向けた施策の参考にさせていただきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。
※お忙しい中、誠に恐縮ですが、是非とも、本調査にご協力をお願いします。

神戸電鉄業生協会の皆様へ
本協会は、業生利用促進の推進を目的として、沿線住民の方々に交通行動変容を促すモビリティ・マネジメントを実施し、住民の方々の業生利用促進や業生に対する前向きな意見を伺うことと致しております(平成23年9月と11月の2回実施)。
今回の調査は、業生利用促進の推進を目的として、「従業員の皆様の通勤実態」や「業生に対する前向きな意見/利用促進に向けた前向きな意見」などを把握するために実施するものです。調査結果は、今後の業生利用促進に向けた施策の参考にさせていただきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。
※お忙しい中、誠に恐縮ですが、是非とも、本調査にご協力をお願いします。

公共交通で通勤することでメリットはあるのでしょうか？

従業員へのアンケート

通勤時の交通事故がなくなります。

兵庫県内の交通事故発生件数の特徴として、通勤時間帯の17時～18時(帰宅時間帯)の17～18時台が最も多くなります。
クルマ通勤からの転換は、従業員の通勤環境の改善を促し、安全性を高めるメリットがあります。

通勤時間帯(帰宅時間帯)に多発!

チェック！
大塚自動車大塚市の企業では、クルマ通勤者の減少により、通勤時間帯の事故の発生率が下がりました。

通勤時に歩くことで健康になります。

例えば、自宅から会社まで15kmを歩くと、徒歩で通勤する場合は約100kcal消費します。クルマ通勤の場合、徒歩で通勤する場合は約220kcal消費します。
クルマ通勤との差は、約120kcalに相当します。ランニング時15分やゴルフ30分に相当します。

チェック！
イギリスの医学専門誌の発表によると、自動車通勤による健康被害は、徒歩通勤、自転車通勤、大塚自動車大塚市の企業では、クルマ通勤者の減少により、通勤時間帯の事故の発生率が下がりました。

企業の社会的イメージが良くなります。

地球温暖化対策として、CO2の排出削減に関する意識の高まりは、企業にとって重要な課題です。企業は、社会的責任(CSR)として、環境への取り組みにも注目を集めています。
クルマ通勤の削減は、CO2削減に貢献し、企業の社会的イメージの向上をもたらすことができます。

チェック！
大塚自動車大塚市の企業では、クルマ通勤者の減少により、通勤時間帯の事故の発生率が下がりました。

駐車場スペースを有効に活用できます。

クルマ通勤の削減は、駐車場の確保に貢献します。駐車場の確保は、企業の社会的責任(CSR)として、環境への取り組みにも注目を集めています。
クルマ通勤の削減は、CO2削減に貢献し、企業の社会的イメージの向上をもたらすことができます。

チェック！
大塚自動車大塚市の企業では、クルマ通勤者の減少により、通勤時間帯の事故の発生率が下がりました。

従業員への通勤手段に関するアンケート調査

()内に具体的な数字を入力し、もしくは該当する項目の口印にチェックを入れてください

1. 従業員の皆様の通勤手段について教えてください。

■1 従業員数は何人ですか？
・全従業員数 () 人
うち、非正規社員(パート、アルバイト等) () 人

■2 従業員の皆様の通勤で、「神戸電鉄」を利用している方は何人ほどいますか？
・神戸電鉄の通勤者数 おおよそ () 人
(非正規社員の方も含めてお答えください)

■3 上記問2の質問で、神戸電鉄で通勤されている従業員の方々、**駅と貴事業所間を、どの交通手段で移動していますか？**
・徒歩 おおよそ () 人 ・自転車 おおよそ () 人
・バイク おおよそ () 人 ・送迎バス おおよそ () 人
・バス おおよそ () 人 ・その他 () 人
(非正規社員の方も含めてお答えください)

■4 従業員の皆様の通勤手段で、「神戸電鉄以外」で通勤している方(問2と問3に当てはまらない方)は何人ほどいますか？
・マイカー おおよそ () 人 ・地下鉄 おおよそ () 人
・バス おおよそ () 人 ・徒歩 おおよそ () 人
・自転車 おおよそ () 人 ・二輪・原付 おおよそ () 人
・送迎バス おおよそ () 人
(非正規社員の方も含めてお答えください)

■5 自動車通勤と電車・バス通勤について、それぞれの通勤手当の内容を教えてください。
＜自動車通勤について＞
①事業所として自動車通勤を許可していますか？
□推奨している □許可している □禁止している
□その他 ()
②従業員の通勤用の駐車スペースはありますか？
□希望があれば誰でも使えるくらいの駐車スペースを設けている
□駐車スペースに限りがあるため、抽選などにより利用者を限定している
□従業員用の駐車スペースは設けていない
③自動車通勤者への通勤手当はありますか？
□距離に応じて支給 □一律 () 円支給 □支給していません

＜電車・バス通勤について＞
④事業所として電車やバスでの通勤を推奨していますか？
□推奨している □従業員に任せている □特に推奨などの働きかけは行っていません
□その他 ()
⑤電車やバス通勤者への通勤手当はありますか？
□定期券などにかかる費用を支給 □一律 () 円支給
□定期券など現物を支給 □支給していません

■6 これまでに、例えばノーマイカーデーの実施や参加など、自動車通勤者を減らすための取り組みを何回か行なったことはありますか？
□ある □ない
□通勤や交代制勤務があるなど、電車・バス通勤を推奨することが出来ない理由がありましたら教えてください。
□夜勤や交代制勤務など、勤務形態と合わないため
□会社の通勤手当での負担が増えるため
□従業員の金銭的負担が増えるため(ノーマイカーデーの実施や参加など)
□従業員の自主性に任せているため
□その他 ()

■7 業生協会の利用者が減少傾向にあり、継続が懸念されていることはご存じですか？
□はい
□いいえ

■8 業生協会の利用者が減少傾向にあり、継続が懸念されていることはご存じですか？
当てはまるものを全て口印に記入してください。
□業生協会は関係性がないため、また、業生通勤者にはないため、影響は受けにくい
□通勤できない従業員が多いため、通勤手段への対策を検討しなければならぬ
□非正規社員(パートタイム、アルバイト等)の確保が困難になると思う
□来訪者・購入者が増えると思う
□事業所の案内やサービスが充実できなくなるなど、全体的な関係性がなくなると思う
□その他 ()

図9 業生線が廃止となった場合、興事業所としてどのような対応をしますか？
 可能性のあるもの全てに☑を記入してください。

- 業生線とは無関係なので、また、業生線通勤者はいないので、対応することはない
- 従業員の通勤や乗客に影が大きいので、事務所を違う場所に移転する
- 電車通勤が出来なくなるため、雇用する地域を見直す（近隣からの雇用を増やす等）
- 従業員の通勤手段をマイカー通勤に変えてもらう
- 従業員の通勤手段の確保として、送迎バスなどを自主運行する
- その他

図10 業生線の存続に向け、利用者増加等に関する取組があるとしたら、興事業所として、その取組に協力することは可能ですか？

- 積極的に協力したいと思う
- 取組の内容によっては協力したいと思う
- 協力することはない

図11 上記図10で「積極的に協力したいと思う」「取組の内容によっては協力したいと思う」と回答された方にお聞きします。
 どのような取組であれば、興事業所として、参加や協力が可能だと思いますか？
 以下の選択肢の中から、当てはまるもの全てに☑を記入してください。

- 毎月最終金曜日の『マイバス・マイ電車の日』など、毎月実施しているノーマイカーデーには、従業員にマイカー通勤を自粛するよう働きかける
- 地域全体としてエコ通勤に向けた運動や取組があれば、ノーマイカーデー以外の日でも、電車・バスを使った通勤者が増えるよう働きかける
- 地域全体としてエコ通勤に向けた運動や取組があれば、マイカー通勤が少なくなるように、通勤手当やクルマ通勤を許可する条件・制度などを見直してみる
- 業生線の存続に向けて、マイカー通勤を全面的に禁止する
- 業生線存続のサポーター制度があれば、会員登録する
 （サポーター制度：良くある事例では、枕木オーナーや北浜鉄道のボランティア駅長）
- その他、興事業所として参加や協力が可能と思われる取組例がありましたら、ご自由に記入ください。

例えば、飲食店であれば、ノーマイカーデーの日に、電車通勤者に飲食代金を割り引くなど、

3. 業生線の利用促進に向けた取組として、どのような取組が良いと思いますか？

図12 以下の選択肢の中から、“従業員の業生線利用を促す”取組として有効だと感じるもの（業生線の利用者増に繋がるもの）全てに☑を記入してください。

<業生線利用を促すような取組>

- ノーマイカーデーの徹底
- 例えばエコ通勤に積極的な事業所などに対して、表彰する制度の導入
- 業生線利用促進に積極的な事業所に対して、駅広告スペースの無料使用制度の導入

<電車・バスの情報を分かりやすくする取組>

- 駅において、バスの乗り場案内やバス時刻表の掲示
- インターネット等でのバスの乗継情報等の提供
- 鉄道やバス、出発時刻と到着時刻の両方が分かる時刻表の作成

<電車・バスを快適に利用するための取組>

- 鉄道と連動したバスダイヤの提供
- 電車の車内において、座席の広がりやすさの工夫や空調の改良による快適性の向上
- 駅構内の夜間照明の増設など、駅施設の改善

<従業員に関する取組>

- 業生線とバスとの連携乗車券の提供
- 業生線の新規通勤定期購入者が一定数いる場合、大口特約による割引制度の導入

<駅まで/駅からの移動を支整する取組>

- 駅周辺でのパークアンドライド用駐車場の整備
- 駅前での送迎用駐車スペースの確保
- 駐輪場の整備
- 駅での自転車貸出
- 駅前でのバス停設置
- 駅と事業所周辺とを連絡するアクセスバスの導入

<その他、有効だと思う取組・アイデアがあればご記入ください。>


図13 興事業所の業生線の利用促進に向けて、具体的な説明や提案をして欲しいなど、当協議会にお願いしたいことはありますか？

- 通勤や業務での業生線利用促進に向け、興事業所に合った具体的な提案をして欲しい。
- 通勤や業務での業生線利用促進の取組に興味があるため、活性化協議会が進めている取組状況などの簡単な説明をして欲しい。
- 興事業所の従業員向けに、業生線利用促進に関する講習会・説明会を開催して欲しい。
- 業生線に関するチラシやパンフレットを送付して欲しい。
- 特にお願したいことはない。

図14 今後、業生線の利用促進に向けたイベントがあれば、興事業所として協力出来そうなことはありますか？
 当てはまるもの全てに☑を記入してください。

- 事業所としてイベントに参画（出展・後援等）する
- 従業員に参加（イベントへの出席）を呼びかける
- ポスター等の掲出程度なら協力出来る
- 事業所としての参画や参加呼びかけ等、イベントへの協力は難しい
- その他

平成24年2月19日（日）に『神戸電鉄業生線活性化シンポジウム』を行います。同町のチラシをご確認のうえ、ぜひご参加ください。



4. その他、業生線の利用や活性化に向けて、ご意見がございましたらお聞かせください。

5. 最後に、ご所属とお名前などをご記入ください。
 （本調査にご回答頂いた方、ご所属やお名前をご記入願います）

事業所名			
部署名			
事業所の住所	〒 -		
回答頂いた方の名前前、役職名	役職名	お名前	
連絡先	電話番号	FAX番号	

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

